

数字でみる大阪市水道局

大阪市水道局のあれこれを数字で公開

#01

事業規模

519億

営業収益

大阪市水道局は独立採算制の地方公営企業として、低廉で良質な水をお客さまに届けられるよう経営努力を続けています。



8か所

勤務地

職員は、アジア太平洋トレードセンター(ATC)の本庁舎をはじめ大阪市内や大阪市近傍にある浄水場(3か所)や水道センター(4か所)などに勤務しています。また、国や他市町村の復興支援のための派遣、海外への出張も行っています。



#02

働く人

1,324人 (令和3年4月1日)

(男性：1185人 女性：139人)

職員数

事務職員・技術職員・技能職員などの様々な職員が働いています。20歳代の男女比率は7：3と、若手の女性職員が徐々に増えてきています。



47.2歳

平均年齢

定年退職後も65歳まで再任用職員として働く方が大半です。大阪市水道局では年齢を問わず活躍できる環境が整っています。



#03

働く環境

14.1%

女性管理職比率

6年前から比べると約2倍に増加！女性の管理職登用は着実に増えています。



86.9%

有給休暇取得率

職員が休暇を取得しやすい環境を整える取り組みを続けています。



6.3時間/月

平均時間外労働時間

短時間で質の高い仕事を評価する組織風土づくりを進めています。



1.9%

離職率

すべての職員がやりがいや充実感を感じながら働き、家庭などの時間を持てる健康で豊かな生活ができる職場をめざしています。



3.3%

男性職員の育児休業取得率

配偶者の出産前後に取得できる特別休暇を利用するイクメンは増えてきています。



100%

出産・育児からの女性職員の復職率

復職後の短時間勤務やリモートワークなど、多様な働き方を支援する制度が充実しています。



3歳まで

育児休業期間

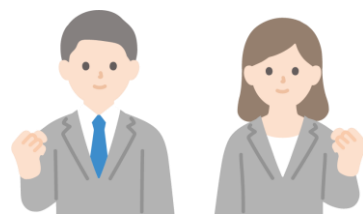
子どもと長く過ごせるように、子どもが3歳になるまで育児休業が利用できます。



6歳まで

育児短時間勤務

子どもが6歳になるまでは、子育てのために短時間の勤務をすることができます。



148名

子の看護休暇取得の職員数

子どもが中学生になるまでの期間、子どもの病気の看護や健康診断などの世話をするための休暇。取得の78%は男性職員です！

